

PAT-NO: JP02003320348A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2003320348 A

TITLE: GARBAGE TREATMENT MACHINE WITH INTERNAL ENVIRONMENT
DISPLAY FUNCTION

PUBN-DATE: November 11, 2003

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KITAGAWA, MITSUNORI	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KITAGAWA MITSUNORI	N/A

APPL-NO: JP2002131798

APPL-DATE: May 7, 2002

INT-CL (IPC): B09B003/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To enable anyone charging garbage to observe the activity of microorganisms, for the purpose of solving the point at issue that garbage is charged continuously into a garbage treatment machine because the activity of the microorganisms in the machine is unknown on the spot where the garbage treatment machine is used to cause defective fermentation due to an increase in the water content of the garbage.

SOLUTION: An indicator panel (1a) is set to the garbage treatment machine (1) so as to be looked from the outside. By displaying three items, that is, an ideal state, an over-drying state, and an excessive water state on the panel (1a), any person who is ready to charge garbage into the machine (1) can adjust the amount and water content of the garbage while watching the character mark on the panel (1a) to always hold an ideal microbial environment.

COPYRIGHT: (C)2004,JPO

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2003-320348

(P2003-320348A)

(43)公開日 平成15年11月11日(2003. 11. 11)

(51)Int.Cl.

B 0 9 B 3/00

識別記号

Z A B

F I

B 0 9 B 3/00

テーマコード(参考)

Z A B D 4 D 0 0 4

審査請求 未請求 請求項の数1 OL (全 3 頁)

(21)出願番号 特願2002-131798(P2002-131798)

(22)出願日 平成14年5月7日(2002. 5. 7)

(71)出願人 591258875

北川 光徳

佐賀県三養基郡北茂安町大字白壁3953-154

(72)発明者 北川 光徳

佐賀県三養基郡北茂安町大字白壁3953番地154

Fターム(参考) 4D004 AA03 CA19 CB04 CC08 DA01

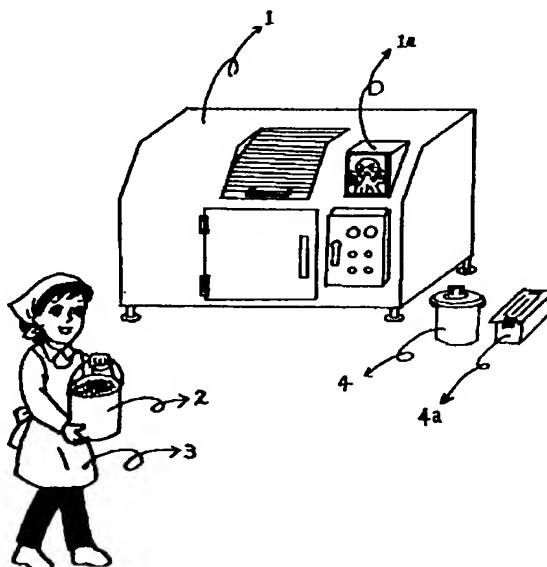
DA04 DA06 DA08 DA09

(54)【発明の名称】 内部環境表示機能付き生ごみ処理機

(57)【要約】 (修正有)

【課題】生ごみ処理機が使用される現場で、処理機内部の微生物の活動環境が解らないために次々と生ごみが投入され、内部の含水率が高くなり発酵不良になることがある。従来のこういった問題点を解消し、生ごみを投入する誰もが内部の微生物の活動状況が解るようにする。

【解決手段】生ごみ処理機(1)の外部から見えるところにインジケータパネル(1a)を設け、理想的状態乾燥過多、水分過多の三種類に分けてキャラクター表示することにより、誰かが生ごみを投入しようとした時、インジケータパネル(1a)のキャラクターマーク表示を見ながら次に投入する生ごみの量や水分状態を投入者が調整でき、常に理想的な微生物環境に誘導していくことができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 生ごみ処理機において、分解醗酵槽内部の微生物環境を外に取り付けたインジケータにキャラクターマークで表示させ、これを使用する誰もが一見して内部の状態を知る事が出来るようにした生ごみ処理機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明に属する技術分野】本発明は、生ごみ処理機が使用される現場で内部の微生物の活動環境が解からない為に次々と生ごみが投入され、内部の含水率が高くなり嫌気状態になったり、冬場に冷たい物が入り過ぎ醗酵不良になったりすることがある。内部の微生物の活動環境が解からなければ、使用する側が投入する生ごみの量を加減したり、水分調整を行なったりすることができず内部環境を悪化させ修復不能な状態になることが多い。本発明は、これを解決する手段に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、生ごみ処理機が使用される現場では次々と生ごみが投入され、理想的な分解醗酵が行なわれていても瞬く間に内部環境が悪化し、修復不能な状態になることが多かった。使用者側になるべく生ごみの水分を切ることや、小分けして頻繁に投入することなどを説明しても目には見えない微生物の活動状態など解かりにくく、内部での分解醗酵に大きな影響を及ぼす内部の含水率状態を判断し生ごみ投入量を加減するなど、一般の人には解かりにくいことが多く、必ずしも万全ではないところがあった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明が解決しようとする課題は、従来のこれらの問題点を解消し生ごみを投入する誰もが一見して内部の微生物の活動状態が解かり、自分がどのように対処すべきか解かるようにすることである。

【0004】

【課題を解決するための手段】1) 従来の生ごみ処理機の外部から見えところにインジケータパネルを設け、醗酵槽内部に取り付けた温度センサー及び湿度センサーの値を理想的状態・乾燥過多・水分過多の三種類に分けてキャラクターマークで笑顔・泣き顔等によるデザイン表示する。

2) 人が近づくとスイッチが入り音声信号による内部の状態を表示するようにした前記1)の生ごみ処理機

【0005】

【作用】本発明では、生ごみ処理機が使用される現場において、内部で起こっている微生物の反応状態が一目で

解かり、誰でも次に投入する生ごみの量や水分の状態を加減することができ、理想的状態を保持するのが容易なことが特徴である。

【0006】

【発明実施の形態】本発明は、生ごみ処理機が使用される現場において誰かが生ごみを投入しようとした時インジケータのキャラクターマーク表示が泣き顔になっており、水分過多の表示が出ていたとする。生ごみを投入しようとした人は、生ごみからもう少し水分を切るよう手配するか、水分調整剤を入れるか、生ごみの投入を翌日まで延期するかの方法が取れる為、内部の環境改善が図られ修復が不能な状態に至らず、生ごみ処理機を使用する側がキャラクターマークを見ながら内部の微生物環境改善の手助けを行なうことができる。

【0007】

【実施例】以下、本発明の実施例を図面に基づいて説明する。本実施例は生ごみ処理機が使用される現場において誰かが生ごみを投入しようとした時、キャラクターマーク表示が泣き顔になっており水分過多の表示が出ているのを見て、投入者が生ごみの量を調整している例である。図1は実施例の全体概要図である。図中1は生ごみ処理機、1aはキャラクターマーク表示パネル、2は生ごみが入った容器、3は生ごみの投入者、4は生ごみの分類容器、4aは水分調整剤である。この実施例では、生ごみ処理機が使用される現場において誰かが生ごみを投入しようとした時、インジケータのキャラクターマーク表示が泣き顔になっており、水分過多の表示が出ているのを見て、投入者が生ごみの量を調整しようとしている例である。

【0008】

【発明の効果】以上の様に本発明によれば、生ごみ処理機が使用される現場において誰かが生ごみを投入しようとした時、インジケータのキャラクターマーク表示を見ながら次に投入する生ごみの量や水分状態を投入者が調整でき、常に笑顔の状態(理想的な微生物環境)に誘導していくことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】実施例の全体概要図である。

【符号の説明】

- 1 生ごみ処理機
- 1a キャ릭터マーク表示パネル
- 2 生ごみが入った容器
- 3 生ごみの投入者
- 4 生ごみの分類容器
- 4a 水分調整剤

【図1】

